大正九年十二月十四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　九月十九日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓　郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ二　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三三三五　營業局專用(3)三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

皇軍向ふ所敵無く 北支の敵陣總崩れ

支那軍無統制を完全に暴露

【北平十八日發國通】疾風迅雷のわが無敵驀進部隊の前進また前進の前には、敵が地形を利し久しきに亘つて築きあげた堅壘も、忽ち全面的に總崩れとなり、十八日午後二時までの戰況をみると敵が生命と恃む南方の退路平漢線は既にわが軍に遮斷され、平漢線正面の敵は小林、鯉登兩部隊にぢり押しに壓せられて、遂に高碑店より西陵支線に亘る來水の縣城西北方高地に閉ぢ込められ、雪崩をうつて西南方に向け潰走中であるが、一部の敵は味方の退却を掩護するため高地に陣地を構築してゐる
これに對しわが小林、鯉登兩部隊の先頭は急追また急追、正午過ぎ拒馬河を渡河するや、破竹の勢をもつて敵軍目がけて殺到しつゝあり、一方平漢線を橫斷、完全に敵の退路を斷つたわが部隊は來水方面の敵の橫腹に一齊に進擊正午までに來水を去る東方六キロの村、十里舖に迫り來水の東方から南方の道に向つて退却中の敵の車輛部隊を一氣に潰滅せんの勢を示し、この方面の孫連仲軍三萬六千の潰滅は既に時間の問題とされてゐる

潰走する敵兵を追ふて

平漢線東側地區の敵は雄縣から南方、西方に死物狂ひの逃走を開始し、雄縣西方二、三キロの地點に車輛約百臺が徐水街道を容城に向つて走り、雄縣より南方を河間に達する街路上には敵兵が算を亂して潰走中である、また固城鎭から高碑店にかけて蜿蜒四、五キロに亘り敵車輛が長蛇の列を作つて一目散に南下し、廣漠たる涿州平野に敵は右往左往して混亂狀態に陷り、銃劍を棄て軍衣を脫ぎ、便衣姿に急變するもの、戰ひ疲れて血みどろの姿でさまよふもの慘憺たる光景を呈し如何に支那軍とはいへ餘りにも無統制振りを示し、わが軍は實に劃期的な戰捷を獲得しつゝある

すでに西亭、孫家莊に進擊

【北平十八日發國通】天津軍司令部午後四時發表
一、涿州西地區を西南に進擊中のわが部隊は正午過ぎ拒馬河を渡り十八日午後二時前後小林部隊の先頭は西亭（拒馬河西方六キロ）に、鯉登部隊の先頭は孫家莊に達せり
二、平漢線を橫斷せるわが部隊は正午頃十里舖、膠村（來水東方六キロ）の線に進出せり
三、敵は混亂して西南方および南方に退却中なるもの如し、一部の敵兵は來水西北方高地に愴惶として陣地を構築中なり

涿州平野に敵兵の死屍累々

【北平十八日發國通】涿州を中心に平漢線一帶に立籠つた孫連仲麾下の敵の大軍は、わが軍の果敢なる攻擊に抗し得ず退却を重ねて十八日正午頃遂に來水およびその西南方高地まで壓迫され保定方面への萬一の活路を求むべく必死の退却援護陣地を構築し最期のあがきを續けてゐるが、最早かれらの潰滅は只時間の問題と見られ、さしもの大激戰涿州平野の大會戰は九月十八日といふ吾々の記念すべき日に一段落となつたのも奇しきことゝいはねばならぬ
未曾有の潰滅戰場となつた涿州平野は既に敵兵なく到る處敵の屍が累々として悽慘を極めてゐる

覇縣、白溝河鎭を猛爆擊

【〇〇根據地十八日發國通】わが空軍部隊は前線のわが軍と協力して退却中の敵を潰滅すべく倉村、鷲尾兩隊は十八日午前、午後數回に亘つて覇縣および白溝河鎭附近の敵を爆擊した、敵は今やわが軍の空陸相呼應しての猛烈な攻擊により全く混亂狀態に陷つてゐる

保定より退却四ケ列車爆擊

【〇〇根據地十八日發國通】十六日拂曉以來の數次にわたる我空軍の猛烈な大爆擊により敵の最大根據地たる保定は完膚なきまでに粉碎され大混亂に陷つてゐたが、さらに地上各部隊に涿州大會戰によりうけた全面的な敗戰で、敵は全く收拾すべからざる狀態に陷り早くも保定附近の敵軍は浮足立つたもの〻如く、十八日正午頃敵兵を滿載せる列車四箇が保定から望都方面に退却中なるを認めた島田部隊〇〇機〇〇臺は直ちに出動し、午後二時四十分頃これに果敢な爆擊を加へ、木葉微塵にして凱歌をあげた

平漢線方面の戰鬪で 支那軍死者六千

【北平十八日發國通】十四日より一齊に開始された涿鹿平原における戰鬪でわが軍の敵に與へたる損害は、房山方面の〇〇部隊によるもの死者約三千、涿州南方において平漢線の鐵道遮斷を行つた〇〇部隊によるものは約二千、永淸方面より西進中の〇〇部隊によるもの約一千、計約六千の多數に上り、わが軍の損害は總數僅かに〇〇名に過ぎぬ

寺田部隊猛進

【北平十八日發國通】天鎭、聚樂堡の激戰に我軍の最前衛部隊として奮戰した寺田快速部隊は生葱、林檎を嚙りつゝ一日十四、五里の強行軍を敢行して友軍の先頭に立ち敵の堅固な永久的な陣地を夜襲しもつて友軍の進擊路を切開き退却する山西軍を追込んでその退路を斷ち敵の大部隊を殲滅すること十二回、十三日拂曉の大同縣城攻擊に際しては平綏線大同敵陣地の後方に進み大同、平地泉間の連絡を完全に切斷して快速部隊の名の如く迅速果敢な進擊をなし山西進軍記錄を作つた

支那船舶の假裝覺書につき記者團に說明

【東京國通】十八日帝國政府より各國に通達された支那船舶の假裝防止に關する覺書內容の件質に關し十八日午後外務當局は記者團との間に左の如き一問一答を行つた
問　帝國政府今回の措置の目的如何
答　わが海軍の支那沿岸交通遮斷以來支那船舶にして國籍を假裝的に第三國に移轉し、わが方の交通遮斷を免れんとするものあるをもつてこれを防止せんとする趣旨に出たものである
問　本件措置の對象たる船舶および本件措置をとる區域如何
答　本件措置の適用されるのは本年八月二十五日の支那船舶交通遮斷宣言以後國籍を第三國に移したる支那船舶であつて、またその區域は前二回の宣言において指定された區域は前二回の宣言において指定された區域なること勿論である
問　今回の措置は從前に比し一步を進め留置なども行ふ模樣であるか右は如何なる理由に基くか
答　今回の措置の對象たる船舶はいづれも先般の交通遮斷以前には支那船舶たりしものにして假裝的に國籍を變更し交通遮斷を免れんとするもの多きに鑑み、之が國籍確認のためには特に愼重なる措置を必要とするからである

敵機江上艦隊に擊退さる

【上海十八日發國通】十八日午後八時四十分折柄の月明に敵機來襲、浦東上空より機を窺ひ爆彈を投下せんとしたが江上艦隊の防空射擊に擊退され同二十分機影を沒した

連敗に竦む民衆に 更にテロ手段

共產勢力支那國內に愈よ跳梁

【上海十八日發國通】九・一八の六周年を記念し各省、市黨部は中央の指令に基き、十八日を期して一齊に全國的精神國防運動を起した、上海の各界抗敵委員會は十八日全國統制軍機關、民衆團體に宛て樂觀的逃避主義者、悲觀的厭世主義者および恐日論者は漢奸と認め徹底的に潰滅するとの新スローガンを通電した、軍費獻納を拒む資產階級や中小市民にして上海、杭州、蘇州、寧波等で連日逮捕される者枚擧に遑ないが、これ等は何れも漢奸として處斷されてゐる、また後方では前線出動を拒む離軍續出し、かゝる戰爭回避風潮は北支における皇軍の連戰連勝と上海戰線における支那軍の敗退が一般民衆に與へた深刻な影響を反映して從々增加の傾向にあるため統制軍の各機關はあらゆる强力手段と宣傳方法をもつてこれが防止に躍起となつてゐる
更に人民戰線の各機關紙には共產黨の有力者等が公然名乘りを擧げて强硬な對日長期交戰と親日分子漢奸の絕滅を號令し、全民族の精神的總動員を主張し有產階級を恐怖せしめてゐる、全國統一戰線を要望する抗日救國運動における共產黨人は戰線の勢力は今や非常な勢をもつて發展しつゝある

十八日の上海戰線 各方面とも進擊

孫家宅、金家灣を奪取

【上海十八日發國通】午後九時軍報道部發表
一、羅店鎭方面の〇〇部隊左翼方面においては十八日朝來馬家宅、孫家宅に對し攻擊中なりしが、正午頃これを奪取せり
二、楊行鎭西方地區においては十八日朝來全線にわたり劉家宅東方地區の敵陣地に對し攻擊中なりしが、數日來の降雨のため各クリークともに氾濫し、相當の難澁をみたるも正午頃田上部隊は金家灣の南北の主村落を奪取せり、當面の敵は金家灣附近に對し再三逆襲を試みたるも悉くこれを擊退せり
三、石井部隊は田上部隊に連絡し同時刻に王丸房附近の線に進出せり、なほ石井部隊長は十六日の戰鬪において左腕に貫通銃創をうけたるも元氣旺盛、依然部隊の指揮を續け當面の敵に對し攻擊續行中なり

虎門砲擊を恐れ水雷を敷設

【香港十八日發國通】わが海軍の虎門攻擊に多大の脅威を感じた廣東軍當局は、十八日日本軍艦の進入を阻止するため虎門砲臺附近に多數の水雷を敷設した旨發表し、同時に香港々灣事務所においてもこの旨を廣東行一般船舶に通達した、蓋し廣東政府は物資輸送のため萬已むを得ず廣東に出入する船舶のみはその指定するランチにて右危險區域を誘導するものと見られる

人事往來

着京

▲牧野豐藏氏（住友顧問）十八日來京ヤマトホテル
▲田中乾一氏（會社員）同
▲筒井英夫氏（同）同
▲泉芳政氏（同）同
▲小池文雄氏（哈鐵運輸處長）同
▲佐々木由藏氏（正金營口支店）同國都ホテル
▲吉田又藏氏　貿易商）同
▲岩田廣次氏（村木商）同
▲金井經彥氏（正金奉天支店）同
▲高橋禮成氏（同）同
▲磯田泰氏（北滿製粉）同
▲小野哲一氏（正金ハルビン支店）同
▲曾根原憲篤氏（三井物產）同
▲藤田正氏（商業）同富士屋
▲萩野實氏（同）同
▲內田憲氏（同）同
▲淵上利想氏（同）同
▲久田忠守氏（內田洋行重役）同
▲中西國太郎氏（同社員）同
▲內田民夫氏（同）同
▲增原喜惣治氏（特產商）同
▲齋藤善治氏（滿鐵）同
▲藤井酒三郎氏（會社員）同
▲島崎昇氏（第一生命）同
▲森喜代八氏（日本鋼管）同
▲山中繁雄氏（大連輸入組合理事長）同蓬萊ホテル
▲山本誠氏（電々）同
▲山本杉氏（滿鐵）同
▲三枝一二氏（官吏）同滿蒙旅館
▲小林良雄氏（同）同國際ホテル
▲櫛田新太郎氏（教員）同

出發

▲安藤一郎氏　十八日發歸阪へ
▲日高長次郎氏　同本溪湖へ
▲井上剛太郎氏　同
▲長田雄次氏　同營口へ
▲澤木國衛氏　同延吉へ
▲中村尚久氏　同
▲中島洋吉氏　同鞍山へ
▲田井信行氏　同圖們へ
▲渡邊寬氏　同
▲北郷七五三六氏　同敦化へ

その日く

□
北支支那軍總崩れ、秋氣爽かななかに聽くけふの快ニュース
□
敵陣に不時着してしかも生還した勇士の物語、殊に日曜を明るくする
□
仰ぎ見る月も、滿洲と支那本土といまは甚だしい相違無きを得ぬ
□
中秋明月下、美しき團欒は北方にある事を歸雁あらば託すべきか
□
小夜更けに咲きて散るとふ緋草のひそやかにして秋深みゆく

戰線突破行二晝夜 空の兩勇士生還

中部戰線に於ける奇蹟的快事

【〇〇根據地にて十八日國通特派員發】既に壯烈な戰死を遂げたと思はれ軍司令部でも戰死と認めてこれを發表したわが空軍の勇士二名が天佑と言はうか、奇蹟と言はうか二晝夜を飮まず食はず頑張つて無事生還したといふ本事變始まつて以來の快ニュースが入り、〇〇根據地の將兵は歡喜の渦に包まれてゐる、去る十四日午後わが軍の總攻擊開始と共に中部戰線部隊に空から協力すべくわが〇〇部隊所屬第一囘少年航空兵出身の二勇士白濱、永井兩伍長は永淸南方南關鎭附近の敵を掃射中不幸敵彈を機關部に受けて敵陣地の後方八里莊附近高粱畑の眞中に不時着した、これを知つた小林中尉の搭乘せる僚機は約一時間半にわたり上空を旋回救援を試みたが、敵の襲擊のため無念にも兩勇士を見捨てゝ原隊に歸還するのやむなきに至つた、この悲報に接すると連絡を取り救援を急いだが既に兩勇士の生還は期せず壯烈な戰死を遂げたものと斷定するに至つた、ところが十七日午後地上部隊が〇〇部隊より兩勇士無事との報を受け原隊は夢かと許り驚き直ちに金井少尉をして兩勇士を飛行機にて〇〇根據地へ歸還せしめ兩勇士はかくて五時半無事原隊に歸還した、記者はこの沈着勇敢な兩勇士をお見舞し兩勇士の遭難から生還までの苦心を聞くべく中富部隊を訪れた、同部隊醫務室の白いベットには二晝夜飮まず食はず生死の間を彷徨した兩勇士の努は長く、日焦けした顏は幾分熱があるのか紅潮し、全身に亘る打撲傷の手當に繃帶に包まれながら兩勇士交々語る
十四日午後出動命令を受けて僚機とゝもに〇〇根據地を出發永定河を破つて敵を遙かに見ながら〇〇一帶の敵陣地を眞上から一氣に猛射を浴せ、思ふ存分敵陣を攪亂したが、五時頃無念にも敵彈は遂にわが機關部に命中機は急角度で敵陣地の後方高粱畑の眞只中に不時着陸したと思つた瞬間何か固いものがぶつかつて異常なショックを受けて顚覆したと見る間に身體は機體の外に拋り出された、フト氣がつくと敵が二、三名すぐ傍に近寄つて來る、何をとばかり身體の痛みを忘れて立上るや腰のピストルを取出す暇もなく敵もさるもの組付いて來たので二人で敵と大格鬪を演じピストルの臺尻で叩きつけたらわけなく伸びてしまつた、これを見つけて數百の敵が四方から我々を取りまいて高粱畑の相間からラッパを吹きながら突喊して來た、最早最後の瞬間が來たのだと觀念したその時さつと頭をかすめたのが重要機密書類だ、これを敵に與へてはならぬと、咄嗟に機體の中にかけこんで敵の押し寄せるのを尻目に重要書類を全部燒き拂つた、敵はすでに間近に迫つた、機體を鎚から目で合圖、淚を呑んで愛機に火をつけこれでもう死んでもよいと思つた、しかし生きるだけ生きねばならぬ、むざむざ敵の手にかゝつて死ぬのは男の恥だ、彈のある限り一人でも多く擊つてやらうと間近の敵を狙ひ擊つたら突然の發砲に先頭の敵が一寸ひるんだ、そこで友軍まで歸つて隊長に逐一報告しやうと決心して敵を倒すなり畠の中に躍り込んだ、後は何だか分らぬ、高粱畠の繁つた方へ〱と走つた、敵はなほわれ〱を追擊して來る、彈は一發もない、突然誰か横合から近寄つて來た、しかしわれ〱が此處に居るのは知らぬらしい
息を殺して地面にへばりついてゐると敵は三米位まで迫つた、今は萬事休すと思つたが、天佑なるかな敵はあきらめたか方向をかへて行つて了つた、此處迄生きれば何とか生きて戾らねばならぬと起ち上つた、われ〱は全身の傷の痛みに初めて氣がついた、然し足の續く限り步かう、北へ北へと行きさへすれば友軍に會へると確信した、夜に入つた、此處でへたばつては今までの苦心が水泡と痛む足を引きずりながら折柄の月明を賴りに步き續けたが、その間幾度も敵と發見されながら一度助つたわれ〱は必ず逃げ了せると確信し割合に落着いて危險を脫することが出來た、何處で寢たか分らぬ、轉んでは起き轉んでは起きまた步いた、二日間にわたり何もない、食物としては何ら目に見えて體の衰へて行くのを感じた、何處に行けば友軍に會ふのか解らぬ、ともすれば沈み勝ちな氣分を引起して明日こそはと淡い希望を捨てず、假眠に入り、夜の明けるか明けきらぬ頃から再び北を目指して全身をひきずりながら步きかゝつた、突如前方遙かに部隊のあるを發見、瞬間敵かと思つたがそれが〇〇部隊の後方部隊と解つて抱き合つて泣いた

けふ中秋節

賑やかな城內外　月餅に明月を觀賞

けふは中秋節である、隣邦支那の戰場化に引きかへて樂土滿洲では月餅を喰べ乍ら名月を觀賞する日である、滿洲國人は老若男女貴賤をとはず業を休み一樣に御供へ物をして我が世を謳歌する、國都城內は田舍からの買出しの人々で賑はひ街行く人々の顏は喜びに溢れてゐる（寫眞は城內のスケッチ）

清掃手向けの香華に眠る英靈を弔ふ

國婦、中小學生多數參列　けふ南嶺で慰靈祭

南嶺戰跡顯彰保存會では南嶺の聖地に眠る倉本少佐以下四十三名の英靈を弔ひ六年前を追想して十九日午前十一時より盛大なる慰靈祭を行つたが昨日の記念日に市民多數が清掃の上香華を手向けたに引續き柴崎總領事代理、國婦代表、中小學校生徒多數が參列した（寫眞は慰靈祭）

物凄き接戰展開

第二日のシングルス一回戰　新日ハンデートーナメント

新日ハンデキャップトーナメント第二日シングルス一回戰は十九日午前九時より中銀コートに於て擧行された、一天雲なく全くの無風、絶好のコンデションに選手の張り切りやうまた一入、開會早々大使館平田君ものすごい當りを見せ强豪產業部小佐々君を辟易たらしめ第二コートの中銀增田君大物產業部大竹君に迫り接戰を演じ早くも試合は高潮に達す

監視所を設け

ペスト防疫陣强化

全滿に於けるペスト發生は當局關係者必死の防疫陣にも拘らず依然終熄せず各地に新患が現はれ猖獗してゐるので首都警察廳では秋季大掃除と併行して鼠の買上、豫防注射を計畫してゐるが更に豫防の萬全を期し防疫陣を强化するため、新京市の各主要入口に監視所式のものを設け徒步者の所持品特に毛皮類、綿類を嚴重檢査しペストの媒介者たる蚤類に至る迄細密なる檢査を實施することゝなつた

十五屍收容

廿名行方不明　雄基丸後報

雄基丸顚覆の急報により關係當局は必死の救助作業を續けてゐるが、正午までに內鮮人十五名の死體を收容した、中には子供を背負つた滿人の死體もあり、悲慘の情景を呈してをり、他の廿名は行方不明である、同船の顚覆原因ならびに乘客氏名は今なほ不明

張り切る競技

けふの新京商業校　秋季大運動會盛會

新京商業學校の第十四回秋季大運動會は十九日午前八時から開催された、國旗掲揚式、開會の辭に續いて直ちに競技に這入つたが、日曜と絶好の運動日和に惠まれて父兄、同窓、一般來賓の參觀者は早くもグランドを埋め、秋空高く澄める下に張り切つた生徒たちは力一ぱいに伸び、跳ね散らし、劍舞、棒倒しなど勇ましい遊戯を織り込んで非常に盛會で終了した

窰門鐵路を擊破す

新京署庭球

新京警察署庭球部はテニス日和の絶好のコンデションに惠まれた十九日午前十時より同署コートに於て窰門鐵路局庭球部の遠征軍を迎へて對抗試合を擧行したが、警察軍の攻擊物凄く斷然窰門軍を壓して大勝午前十一時半閉戰した戰績は左の通りである

窰門軍		警察軍
（河野・池ノ上）	3―4	（近藤・井手）
（新德・藤田）	0―4	（增井・岡田）
（根本・石元）	0―4	（藤野・平田）
（山脇・山口）	0―4	（中村・大內）
（藤野・有馬）	2―4	（平井・三ノ丸）
（木村・山口）	0―4	（山口・西本）

釣錢詐欺現はる

マンマと一ぱい　果物屋御難

老松町二丁目一番地果物店下野農園こと富川テツさんは十八日午後九時半頃大經路兩級中學校靑木と稱するものより電話で果物二圓五十錢に五圓で支拂ふから釣錢を持參するやうにと註文に接し店員に右果物及釣錢二圓五十錢を持參せしめたところ同校入口に待受けてゐた黑背廣服を着た內地人にまんまと詐取され驚いて領警署に屆出た

六日に亘る

全國滿字紙記者懇談會　多大の成果收めて閉會

全國滿字新聞記者懇談會最終會議は十八日午前十時より日滿軍人會館會議室において開會され、國務院總務廳企畫處參事官張善嗜氏の滿洲國の行政機構に關する講演についで龜谷映畫協會製作課長の映畫協會の成立とその使命に關する講話ならびに長谷川放送局長の世界における放送事業の現狀ならびに滿洲國における放送事業の現狀について講話あり、午後一行は興運門前に至り皇居を遙拜、盛京時報編輯局長穆六田氏一同を代表し許宮內府總務處長に賀表を捧呈せる後、南嶺始め國都を見學、午後五時半より協和會々議室に於て協和會中央本部長于靜遠氏の民族協和に關する講話を聽き、引續き森田國通社長より本懇談會閉會の挨拶あり午後六時半より中央飯店における協和會の招宴に臨み歡を盡して同七時半散會した

農業移民團出發

第七次滿洲國農業移民團五十六名は十九日午前八時二十分發列車でいよく目的地に向へ出發した

參觀數千に埋もる

けふ先づ優秀犬を審査　軍犬品評會盛況

滿洲軍用犬協會新京支部の第二回軍犬品評會並に訓練競技會は十九日新京大同公園內で開催された、この日は日曜日滿洲國仲秋節で各機關の休日に加へて絶好の秋晴れに惠まれ會場の周圍は數千の參觀人で埋めらる、一方出陳犬は各飼主に牽れて續々と入場、午前八時三十分品評會開始、出陳の優秀犬四十餘頭整列、鄉支部長の開會の辭があつて審査開始、審査は審査委員長高島獸醫大佐、委員關東軍山岡中佐、軍犬新京支部源田副支部長、同岡田訓練所長、關東軍獸醫部戸村氏等により第四類（未成犬牝）から順次第三類（未成犬牡）第二類（成犬牝）第一類（成犬牡）と嚴重なる審査が行はれ正午終了、休憩のゝち午後一時から訓練競技開始、鄉支部長より競技について注意があり精鋭をすぐつた出場十八頭の基本訓練搜索、襲擊等に移つた【寫眞は軍犬品評會】

滿拓公社と移民團長懇談會

滿拓公社と移民團長との懇談會は十八日午前八時半より軍人會館に開催され各移民團長自由移民責任者、第七次移民團指導員ならびに拓植委員會滿拓公社各首腦部百餘名出席し和氣靄々裡に次の各事項につき懇談した

一、公社と移民團との連絡を緊密にする方途について
一、移住民の相互扶助について
一、自作面積を擴張する方策について
一、移住地における自給原料による副業の種類ならびにこれが奬勵方策について

快晴休に惠まれた

第五日目　準硬式野球大會　一投一打に亂れ飛ぶ歡聲　白熱す西公園球場

本社主催準硬球野球大會は連日興味あるスコアーの續出に人氣を呼んで居るが第五日目電業對司法部戰は十九日午前十時廿五分より西公園球場に於て森川（球）津田、仁戸田（壘）三氏審判のもとに司法部の先攻で開始された、快晴の日曜に惠まれファン應援團續々詰かけ一投一打毎に歡聲四方より亂れ飛ぶ、一回司法部の攻撃で司法部チャンスをとらへ四點を入れ試合は劈頭より混戰を演じたが二回目に司法部更に六點を加へ、これに對し電業亦果敢な追擊戰を試み、二、五回に各一點、六回に三點を擧げて試合は愈よ白熱戰に入りファンを熱狂させたが結局十對六で司法部が大勝した、續いて午後一時半より天狗對MSK戰が開始された

スコアー

司法	4	6	0	0	0	0	0	0	0
電業	0	1	0	0	1	3	0	1	0

6―10

北支事變による勞力不足緩和

大東公司乘り出す

支那事變の進展に伴ひ滿洲勞働者配給機關たる大東公司では靑島、芝罘、龍口の各地事務所が引揚げたゝめ山東苦力は入滿杜絶の狀態となり全滿土建界の勞働力拂底は問題化されるに至つたので、これが對應策の樹立をはかり勞働者需要緩和策として

一、北支戰局の安定をまつて山東省苦力の出稼誘致
一、奉天、安東、錦州各省罹災民の救濟策として土建勞働者に向ける
一、收穫期後の農閑期における農工勞働者の土建勞働者への轉向
一、內鮮支那人及び朝鮮經由山東苦力入滿者の增加

等に積極的に乘出すことになつたが、遲くも十月上旬頃までには滿洲土建界の勞働力飢饉も漸次解消されるものと期待されてゐる

車輛に挾れ滿人壓死す

十八日午後六時頃新京驛機關庫構內に於て石炭貨車連結中常傭苦力本籍山東省以下不詳趙喜田（三六）が車輛に挾まれて壓死した、急報に接し新京署平井巡査部長、二田口刑事が檢證した

禁衛隊遺骨

八體けさ着京

十九日午前八時着列車で滿洲國禁衛隊遺骨八體が奉天から淋しく凱旋遺族國防婦女會員に迎へられ直ちに禁衛隊に安置された

恐喝して刺す

醉拂つた與太者御用

本籍神奈川縣鎌倉郡鎌倉町亂橋町井口彦太郎（二五）は元興安大路一二四多以良書店員とし勤務してゐたが、集金詐欺横領盗癖あり店は再三の被害を受け加へて酒亂癖のため幾度か暴行を働く等仕末に終へず同店を馘首されたがその後も素行收まらず街の與太者とし　蛇蝎の如く嫌はれてゐたものであつたが　偶々去る十五日午後六時頃大同公園に於て特別市豐樂路七〇四カフエーミス神戸女給瀬川たへ子（一九）と西川新京支店々員和上歳雄（二〇）＝假名＝の兩名が右公園散歩中の姿を發見、風俗を紊亂するものであると因縁を吹き掛け兩名を恐喝したが兩名は無一文で金にならず越えて十五日午後八時頃再び恐喝を目的に井口は酒氣を帶びて西川商店に至つたが和上氏は不在のため目的を達せず其足でミス神戸に廻り女給瀬川並店主小泉鵬之助氏（三〇）をおどしつけた然し小泉氏は頑として應じなかつたので井口は矢庭にかくし持つた手挾を以て小泉氏に躍りかゝり上膊部外三ヶ所に全治十日間の刺傷を負せた、小泉氏は勇敢にこの刺傷にひるまずして格闘の末逮捕領警署に突き出し目下井口は同署に留置取調べ中であるが、同署ではこの種與太者に對して嚴罰を以てし掃蕩を期してゐる

大同學院生日本視察に

大同學院第二部百七名は十九日午後十時十分發列車で日本視察のため京圖線經由日本に向ひ出發する

天婦羅きみやす

吉野町二丁目十四銀座裏に「天婦羅きみやす」と云ふ天婦羅屋が開店した內部の模樣を江戸趣味に改造此程竣成したので十六日夕は各方面を招待試食會を催した材料は一切內地より直送調理人は東京より聘して純江戸前の天婦羅を提供する

連侍從武官

連侍從武官は十九日午後二時十分發あじあで中央陸軍訓練所卒業式に臨席のため出發した

佛教青年會講話

演題　世に沈み世を超ゆる者…森山隆男氏
二諦の妙旨…光岡慈昭氏

記事取消請求

貴紙昭和十二年九月九日夕刊第五二五六號第二面掲載の新京驛機關庫構內工事施工中苦力賃不拂云々の記事は當組は同工事は全然請負致候事無之從て當組又は配下に於て如斯事有之筈なく尚ほ川畑慶吉なるもの當組には之なし、營業上甚だ迷惑の次第に付全文掲載御取消相成度此段請求候也

昭和十二年九月　長谷川組支店

新京日日新聞社御中

あす（九月二十日）

▲彼岸入
▲本社主催ハンデトーナメント庭球大會第三日、中銀コート
▲本社主催準硬式野球、新京商業對電々、午後四時半、西公園球場
▲臨時種痘施行、正午―午後四時、惠民路大德公司事務所

今晩の主なる演藝放送

▲七・三〇國民歌謠、齊唱「征けよますらを外」（大阪）大阪音樂學校生徒外▲七・五〇新邦樂「陣營の月外」（東京）邦樂研究會▲八・一五ピアノ獨奏（東京）井上園子▲八・三五舞台劇「足柄山の月」（東京）澤村宗十郎外

暗黒街の彈痕

「激怒」の亞流…ユナイト作品

◇…シルビア・シドニーとヘンリイ・フォンダの主演する映畫で、フリッツ・ランクの「激怒」に次ぐ監督作品である、前科三犯の兇狀を持つ男（ヘンリー・フォンダ）がその愛人（シルビア・シドニー）の努力で保釋出獄を許されるが、世間の彼に對する眼は冷く、然し乍ら愛し合つてゐる二人には暫く幸福な生活が續いた、折柄銀行を襲撃したギャングがあり、現場に落とされてゐた帽子が彼のものであつたことから嫌疑をうけて四度び捕まれて死刑に問はれる、彼は無實を主張したが聞き入れられず、遂に脱獄を企て過つて牧師を射殺し、官憲と良心の苛責に襲はれながら愛人と共に國境をさして逃れるが國境間近かで官憲のために發見され、二人抱き合つた儘銃彈を浴びて斃れる。

◇…フリッツ・ランクの作品には犯罪を扱つたものが多いが、これは前作「激怒」の亞流を汲むものであらう「激怒」に比べて狙ひは確かに低いのであるが、不正な制裁手段によつて無實の罪に追はれる不幸な人達の姿を描き出さうとしたことに變りはない、そして依然として「甘さ」がついて廻つてゐることも前作と同樣である、狙ひが低いだけにこれは一層お芝居に成り過ぎてゐると言はれることである、積極的な解決などこゝからは求めやうとしても出來ない相談である。

◇…脚本は「Gウーマン」のチーム、ジーン・タウン、グラハム・ベイカーになるものであるがストオリイそのものにかなり御都合主義な點が多い上に、御兩人の商賣氣によつて「甘さ」が見透される、フリッツ・ラングの監督ぶりも時にアメリカの監督の持たない鋭いものを見せはするが、矢張り新奇を狙つた娯樂品程度の水準にしか止つてゐない、ギャングものらしいスリルは毒瓦期を使用した怪漢の銀行襲撃と、男の脱獄の件りに見られるが愛人と逃避を始めてからの緊迫感はもつと切實なものがあつてもいゝと思はれた、主役二人は好演、殊にヘンリー・フォンダがいゝ演技を見せてゐる、撮影はレオン・シャムロイ、助演者としてウイリアム、ガーガン、バートン・マクレーン、ワーレン・ハイマー等が顔を並べてゐる。ギャングものとして新奇な題材が迎へられやうし、愛する男と共に死ぬ女の行動にも大きく共鳴されるものがあらう。豊樂劇場上映中、寫眞はその一場面（N生）

シーズンを飾る 外畫封切陣

秋シーズンの幕を切つて落した映畫界は、現下の非常時局に反映して邦、洋畫共一齊に軍事物の全盛を見せてゐるが外畫各社でも東和商事の「スパイ戰線を衝く」「海のつはもの」を筆頭に依然軍事物が幅をきかせ、音樂物もRKOの「踊らん哉」に新進GBの「君と踊れば」コロムビアに近着するグレース・ムーア主演の「ロマンス求めて」と多彩な硬軟兩様の大作が九、十十一月とシーズンの最高潮を狙つてゐる、各社の陣容は左の通り

△東和商事「スパイ戰線を衝く」ウファ映畫カール・リツタ監督「海のつはもの」佛セテイフ映畫マルセル・シルビエ監督「白鳥の舞」ウファ映畫リリアン・ハーヴエイ主演「どん底」佛アルバトロス映畫ジャン・ルノアール監督「ジェニイの家」佛ゴーモン映畫マルセル・カルネ監督「ひめごと」獨シネ・アリアンツ映畫ウイリイ・フオルスト監督

△RKO映畫「踊らん哉」アステーア・ロヂヤース主演「虹晴の河」ボビー・ブリーン主演「ブラウンの空中戰」ブラウン主演

△メトロ映畫「夜は必ず來る」ロバート・モンゴメリイ、ロザリンドラツセル主演「父と其の子」ウオーレス・ビアリイ主演「君若き頃」ジャネット・マクドナルド主演

△コロムビア映畫「ロマンス求めて」グレース・ムーア主演「貴方のものよ」マデリーン・キャロール主演「戀は人生の始め」ジーン・パーカ主演「恐ろしき眞實」アイリン・ダン主演

ルノアールの傑作「どん底」

名匠ジャン・ルノアールの傑作として呼聲の高かつた「どん底」は愈々東和商事に入荷し、批評家、映畫作家のために試寫されたが、流石、佛蘭西での定評に背かぬ名畫として、悉くの絶讃を浴び、早くも今年度一二を爭ふ優秀映畫としての呼聲が高い、これはゴリキイの原作をルノアール及び「女だけの都」「我等の仲間」のシャルル・スパークが原作者の承諾を得て全く新しい時代のために改作したもので、主役ペペルにはジャン・ギャバン、男爵にはルイ・ジューヴエ、ナターシャにはジュニー・アストルといふ素晴しい顔振れである、東和商事では、これを今秋最高の藝術映畫として近く封切ることに決定した

新興大泉の二大ステーヂ

躍進につぐ躍進をつゞけてゐる新興大泉撮影所では、秋シーズンの製作陣强化のため、七月中旬、第一ステーヂ北側に新トーキーステーヂ二棟の建築に着手、爾後工事を急いでゐたが愈々近く完成の運びとなつた、此新築トーキーステーヂは、一ツの總建坪二百五十坪、ステーヂ内に大道具製作室、小道具照明器具等の置場を有する他、防音、換氣法、防火設備を完備し、最新式の性能を誇るものであり、先に新築せる「編輯部」と共に新興大泉の飽く事なき躍進ぶりを如實に物語るものである

雑音

豊劇上棟二周年記念「南國太平記」「暗黒街の彈痕」は初日土曜日をうけて打ち込みから好調を見せる、傳次郎の吸引力もさることながら「暗黒街」の方が又意外にうけてゐる▼二年前の寒々とした此の大建築の當時を知つてゐる者にはこの盛況をみて今昔の感が深いのである▼帝都キネマ次週は「眞夏の夜の夢」「あらし」の二本、こゝの企劃部はシエクスピアが大變お好きと見える正當を得た觀客の誘導が肝要である

さぼてん

吉野町四丁目に怡春大菜館といふ滿人經營のロシヤ料理がある、或る日此處に行つたら板の壁を隔てた隣室から仲々にカン高い女の聲、其話によると何處かの女給さんらしく色々面白い話をして居つた滿人式のあゝいふ家に行つたら氣を付けるべし、まさに壁に耳ありですからね▼おでん屋式の設備をした國都ホテルのグリルを覗く、女の子のサアヴイスがまだしつくりしないやうだがその内の一人「上等の酒も普通の酒も同じやうにして注いであげるわよ」と言つてゐたのは良い心掛けです

月曜 九月二十日 舊八月十六日 庚戌 大安 除 心宿

●一白の人 思惑外れを生じ易き日企業開店普請見合せ 庚と辛と壬が吉
◎二黒の人 腰を据ゑて實直に働けば漸次に吉兆を呈す 乙と申と壬が吉
●三碧の人 金詰りを生じて思ふ存分の働き出來ざる日 乙と丁と壬が吉
●四緑の人 辯口理屈は達者なれども實効の伴はざる日 甲と乙と丙が吉
●五黄の人 外分や體裁を思はず質素に身を持すれば吉 丙と申と癸が吉
●六白の人 物事に躊躇せず心を勵まし奮起すれば大吉 丁と申と壬が吉
●七赤の人 一時の煩ひはあれど努力の功は忽ち現はる 壬と癸と丑が吉
●八白の人 思案に過ぐれば何事も出來ず奮起肝要の日 乙と壬と癸が吉
●九紫の人 萬事意の如く行はるゝ幸運日開店普請亦吉 巳と申と寅が吉

白い天使（禁上演・上映）

林房雄作　吉田眞里畫

（九七）

トランク（三）

これで煙草をすふと、悪魔ばらひの効果があるのだといふ。

田中は、それで一服やつてみようかと思つた。

が、剝製のトカゲが、黒い化石の上で、青い眼をぎろぎろ光らせてゐるのをみると、すつた煙の中から南洋の悪魔でもあらはれてるやうな氣がしてぶるぶるとした。

──不吉なパイプめ！」

考へは、また弘子の方へかへつて行く。

──このまゝ、弘子をにがしてしまふのは、どう考へても、いまいましい。

こんなことで兜をぬいてしまふおれではない。

まして、ばかにしきつてゐる史子から、裏をかゝれたと思ふと、なほさら癪にさはる。

また、せつかく育てあげた弘子のあの肉體を、秀夫なんかにわたしてなるものかといふ、はげしい嫉妬を交へた競爭心も起つた。

『よし、どんな手段をとつてゞも、もう一度、弘子を自分の手にうばひかへしてやるぞ！』

田中はほうりだしたパイプをひろひあげると、まるで自分が南洋の悪魔になつたかのやうな顔をして剝製のトカゲをにらみつけた。

そこへ卓の上の電話がなつた。

受話器をとりあげると

『こちらは警察ですが……』

はつとしてパイプをおとした。

──が、電話の内容は、更に意外なものであつた。

弟の秀夫が、自動車爭議に關係して、ひどい負傷をした。警察の手で、附近の外科病院にいれてあるから、ひきとりにきてもらひたいといふ。

『え、それは……。なにか人ちがひではありませんか？』

『いや、本人が、あなたの實弟だと自供してゐますから、まちがひないと思ひます。自動車爭議については、新聞に詳しくのつてゐますからご承知のことゝ思ひますが。……とにかく、警察として責任上、一應御通知申しあげただけですから、あしからずご承知下さい』

田中は、この二三日のごたごたで、たゞ、見出しを眺めただけでよみとばしてゐた新聞を、女中にもつてこさせて自動車爭議の記事をよみなほした。

たしかに、解雇された助手として、秀夫の名がでてゐる。

しかし、解雇の理由は、思想上のことで、といふ事になつてゐる。

今日の朝刊の、最後の記事は『血の亂鬪』といふ標題で始まつて

『籠城爭議團は、一時××を撃退して凱歌を奏したかの如く見えたが、所轄××は、劍道師範以下のよりぬきの××十五名に、劍道用の面をかぶせて、目つぶし×の亂下する中を、事務所階上におしのぼり、双方大亂鬪の末、爭議團三十六名中、二十一名を××したが、双方とも×まみれ、灰だらけで、劍道師範は面の上から××で左眼をつかれ××、一××は、片耳が××れるばかりの負傷、共に附近仁壽堂醫院にかつぎこまれた。爭議團側にも四五名の負傷者があり、特に重傷で、同じく仁壽堂外科にて手當中

なほ、主謀者篠田以下五名は亂鬪にまぎれて逃亡したが當局の手配によつて、近く逮捕の見こみ……』

田中は、パイプを床の上にたゝきつけた。

剝製のトカゲが臺木からはなれて、厚い絨毯の襞の中に四つ足をひろげた。

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話（編輯局專用）③三二二五（營業局專用）③三二〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

無人の野を行く勢ひ
わが軍保定へ猛進擊
敵算を亂して西南方に潰走

【天津十九日發國通】涿州作戰開始以來すでに五日、中央および左右兩翼よりひた押しに進むわが軍は數倍に達する敵の據點を漸次奪取し右翼の挺身部隊は裝甲列車を先頭に平漢線上北平保定間の要地高碑店を占領、目下同地附近の殘敵を掃蕩中で、わが方の戰略展開は極めて順調活潑に進展殆ど無人の野を行くが如き勢である、かくて覇縣、新城、定興の線に布陣した萬福麟、馮占海の雜軍主力はわが方の壓迫を支へかね全線總退却の隊形に反轉雪崩を打つて西南方に潰走中で、高碑店の第一線部隊は目指す保定を十四里の彼方に望み全軍の士氣ますく軒昂保定へと猛進しつゝある

(天津軍午前十一時發表)【天津十九日發國通】天津軍司令部午前十一時發表＝（一）平漢線西方地區の敵は西南方に向つて潰走中なり（二）わが第一線部隊は午前八時すぎ概ね來水縣北方高碑店附近の線に進出、敗敵を急追中なり、涿州城は十八日正午頃殘敵掃蕩終了せるものゝ如し

(天津軍同十一時半發表)【天津十九日發國通】天津軍司令部十九日午前十一時半發表＝牛頭鎭方面より西方に向ひ前進中のわが部隊は淶路を目しつゝ十九日午前十時頃新城（涿州南方八里）北方地區に進出せり

【十八日午後五時半迄の狀況】【天津十九日發國通】十八日午後五時半現在、涿州平野における彼我の狀況左の通り（一）右翼部隊は敵を西南方に壓迫しつゝ拒馬河上流を渡涉し西亭、張頑臺の線に進出せり（二）中央方面においては平漢線を橫斷、二村、胡家溝務の線に進出したが、高碑店東北角の地點に據れる敵に對しわが一部隊は目下これを攻擊中である（三）左翼部隊の一部は〇〇西方に進出した（四）わが軍の果敢なる急追に敵は全線にわたり總崩れとなり西南方に退却しつゝあるが、その停止線は未だ不詳である

保定へ後十四里

十九日朝迄の支那各地戰況

△平綏方面　一擧大同府城を屠つたわが無敵作戰軍は空軍と呼應し十五萬の支那軍を蹴散らし乍ら進擊を續け十八日正午豐鎭を占領更に左雲、懷仁、小村の線に進出した、雁門關一帶に據る山西軍主力との一大會戰が近く展開されんとしてゐる

△平漢、津浦線方面　敵裝甲列車を奪つた快速部隊は十八日敵中を南下突入してわがタンク隊亦猛進を續け高碑店を占領、平漢線を分斷、敵の退路を完全に遮斷した、十九日朝來皇軍は涿州平野を右往左往潰走する三萬六千の孫連仲軍を潰滅中、更に空軍は長驅保定陣地を捨てゝ潰走中の敵列車を十八日二回にわたつて爆擊した、津浦、平漢兩線の中間地區方面の皇軍は十八日雄縣を占據し目下河間方面に潰走する敵を追つて直隸平野に壯絶なる追擊戰を展開

△上海方面　數日來の豪雨のため各クリークは氾濫し著しく皇軍の活動を妨げてゐるが要地吳巷、馬家宅、孫家宅、王丸房も十八日既にわが手中に歸し戰局は愈々有利に展開してをり、江灣方面のわが包圍陣も益々縮小されてゐる

△南支方面　日本軍艦の海南島砲臺覆滅に狼狽した廣東軍當局は香港港口に多數の水雷を敷設した、空の荒鷲部隊の活躍に愈々活潑となり上海戰後は勿論南支各軍事要地を盛んに爆擊してゐる

海軍機、虹橋飛行場爆擊
楊樹浦上空で敵一機を擊墜

【上海十九日發國通】艦隊報道部十九日午前九時半發表＝（一）海軍航空隊は十八日虹橋飛行場を爆擊せり（二）十八日夜敵機は上海上空を空襲し楊樹浦地域に燒夷彈を投下したが、わが防空砲火によりその内一機を擊墜せり

【上海十九日發國通】十八日夜八時頃楊樹浦の空襲を試みてわが〇砲のため申新紡構內に擊墜された敵機はカーチスフオーク三型戰鬪機で尾翼に「浙江航協專號」と印され、浙江省航空協會獻納機らしくこれからみると杭州の筧橋飛行場より飛來したものとみられる、なほ同機は擊墜の際爆彈一個を翼下に抱いてゐたが不發に終つてゐた

【上海十九日發國通】十八日午後十一時十五分より十五分間三度び敵機の空襲あつたが、わが防空砲火により擊退された

江灣方面逆襲の敵と
猛烈な邀擊戰展開

【上海十九日發國通】事變記念日たる十八日敵がかねて計畫の逆襲は夜闇に入つて敵機數回の空襲をキッカケに大擧敵部隊が江灣方面のわが陸戰隊戰線に向つて銃砲火をあびせかけ、わが方もこれを邀擊猛烈に激戰が展開された、なほ敵機の投下した燒夷彈により楊樹浦招商局碼頭に火災起り火焔は天に冲してゐる

古田枝隊 夜襲の敵擊退

【上海十九日發國通】十八日午後九時頃陸戰隊北部戰線古田枝隊の前面に敵の夜襲あり機銃彈を浴びせ來つたが古田枝隊は〇砲および機銃をもつてこれを反擊交戰約四十分で擊退した

五家口の激戰で 白石大尉戰死

【上海十九日發國通】十三日楊行鎭西方小王宅、五家口附近の戰線の白兵戰で田上部隊の白石鉑大尉、上林眞一中尉、中野正少尉はいづれも壯烈な戰死を遂げた、殊に〇隊長白石大尉は五家口の激戰に自ら軍刀を振つて敵陣に斬りこみ敵十數名を斬り倒し奮戰中敵彈に胸部を射拔かれドッと倒れながら進め進めと絶叫しつゝ悲壯なる最期を遂げたものである

朱家宅附近の
敵主力を擊破
垣内部隊長負傷す

【上海十九日發國通】十六日午後二時楊行鎭西方朱家宅附近の激戰に水位胸部に達するクリークを勇敢に渡河して突擊した垣内部隊は敵の主力を完全に擊破し所定陣地を確保した、この白兵戰で陣頭に立ち奮戰中の部隊長垣内徹少佐は大腿部に敵彈二發をうけたが、負傷に屈せず部隊を指揮してよく大捷をかち得た、同少佐はいまなほ劉家巷附近の戰線に立ち勇名を轟かせつゝある。同部隊は軍神橘中佐出身部隊でいまなほ橘部隊といはれ、その勇名を誇つてゐる

海軍機、南京を空襲

【上海十九日發國通】海軍〇〇航空隊は十九日朝南京を空襲し、敵空軍根據地數個所に致命的打擊を與へた

襲擊事件再び發生
地中海を繞る歐洲政局
不安愈よ深刻化す

【ロンドン十八日發國通】英佛兩國の熱心な參加勸誘にも拘らずイタリー政府は地中海協定に對し依然冷淡な態度を示してゐるが、一方地中海においても一時中絶したかに見えた襲擊事件が昨今再び再發生し、地中海をめぐる不安はますく深刻化の樣子を呈してゐる、即ち

一、スペインヒホン港沖合において英國驅逐艦フイアレス號（一、三七五噸）は、國籍不明の飛行機の爆擊をうけ爆彈六個を見舞はれた但し一發も命中せず損害なし

一、マルタ島附近において國籍不明の潛水艦が英國航空母艦グロリアス號（二二、〇〇〇噸）を襲擊し水雷を發射した

一、マルタ島附近において獨伊兩國驅逐艦がスペイン革命軍旗を掲揚する一潛水艦を護送してゐたとの噂が傳へられる

一、英國の巡洋戰艦フード號とレパルス號は陸戰隊を乘せてマヨルカ島に向つたとの說がある

一、地中海協定に對する報復手段としてイタリーはスペインに增派すべき義勇軍の新募集を非公式に行ひつゝあるといはれる

以上の如き不穩の形勢に鑑み英佛兩國政府は地中海に軍艦を增派すると共にスペインにおける外國義勇軍を全部退去せしむるに決定、若しこれが實現しなければフランス、スペイン國境の監視を撤廢する意向といはれるがフランス、スペイン國境が解放されゝばスペイン政府軍は同方面からソヴイエトの武器を輸入し得るので地中海警備協定により不利な立場に陥つた革命軍は益々苦境に陥るとみられる、これに對し獨伊兩國が如何なる態度をとるかスペインをめぐる歐洲政局は愈よ暗澹たるものがある

滬杭甬、粤漢連絡線
廿日より開通

【上海十九日發國通】日支交戰により鐵道交通に大障碍を來した南京政府は窮餘の一策として滬杭甬線を玉洋線につなぎ、さらに湖南省株洲において粤漢線に連絡する新交通路を廿日より開通する旨發表した、右により廣東、上海間の鐵道連絡なり印度支那方面より廣東に輸送される武器の運搬ならびに西南方面の軍隊輸送にあてるものとみられる

駐支英大使 今週中に退院

【上海十九日發國通】ヒユーゲッセン英國大使の病狀はその後ますく良好で今週中には退院の運びとなる筈である、十月七日前後軍艦で香港に赴き約一ケ月半に亘つてチヤバ方面の休養旅行に赴く確定である

支那軍の蠻行累加
適當の制裁を加へよ
燒夷彈投下に就き艦隊當局談

【上海十九日發國通】十八日夜敵夜襲機が楊樹浦に燒夷彈を投下した事實につき艦隊當局は十九日午前九時半左の當局談を發表した

十八日夜空襲せる支那空軍が共同租界に燒夷彈を投じたことは發表の通りであるこの燒夷彈投下の目的が共同租界市街を灰燼に歸せんとしたことは明瞭で、幸ひにしてわが方の適切なる防備によつて被害を局限することを得たが、抑々燒夷彈を對空防禦以外に使用することは國際法の嚴重に禁止するところであつて毒ガス使用と共に最も非人道野蠻の行爲である、支那軍はさきに多數市民の居住する都市の中心を爆擊して幾多無辜の非戰鬪員を殺傷し、戰禍を避けて安全の地を求むる子女を收容したる無防禦の商船に攻擊を加へ、甚だしきにいたつては赤十字旗を無視して病院船に砲火を集中するなどその無節度、暴逆底止するところを知らず、而も彼等はその文明の度低きの理由をもつて世界各國が動もすればその蠻行を寬恕する風潮があるのに狎れて逐次增長し、あらゆる蠻行を加速度的に累加しようとしてゐる、今にして彼等に適當の制裁を加へその反省を促さざるときは法規の威嚴、文明の精華は消滅して虛無蠻行の橫行をみるであらうことを惧れる、世界識識の人士はよろしく偏見を去つて公平無私の觀念をもつて冷靜に事態を考察して文明擁護の共同目的のために活眼を開いて擧措を決すべき秋であることを信ずる

宋美齢來滬は 飛行機購入運動のため

【上海十九日發國通】宋美齡が十八日突如上海に現はれた理由については從來種々取沙汰されてゐるも、最も信ずべき筋への確報によると宋美齡は航空委員會の秘書長としての立場から米國に註文した軍用機が同國大統領の武器禁輸宣言の結果取消しとなり、飛行機註文の唯一の望みが斷たれたので潰滅に瀕した空軍の更生再建をはかるべく、更に米國以外の海外に註文を發するにあると解されてゐる

租界來襲の敵機を擊退

【上海十九日發國通】十八日午前零時四十分頃敵機第四次來襲爆彈投下により共同租界東部方面に火災を起したが、さらに午後一時またもや來襲何れもわが射擊により擊退された

王大使、ル大統領訪問

【ワシントン十八日發國通】ワシントン駐箚支那大使王正廷氏は十八日正午過ぎホワイト・ハウスにル大統領を訪問した、王大使は大統領と會見後、何時もの長廣告に似ず一切語ることを避けたが、政府所有船による武器禁輸につき直接大統領に泣きを入れるとゝもに聯盟の諮問委員會に米國の參加を要請したものと信ぜられる、最近支那側は相續く敗戰の報に極度に狼狽してゐる模樣で、米國の誘き入れに狂奔してゐるが、米國政府は支那事變に關してはあくまで獨自の立場を堅持する方針だから王大使の大統領訪問は却つて米國側の反感を招くに過ぎなかつたやうである

信語

暴戾支那軍膺懲の聖戰を開いてより茲に三ケ月その間忠勇義烈の我が皇軍の向ふところ敵なく意氣冲天いよく最後の總攻擊に移らんとす▼遠間の我が皇軍の壯烈なる奮鬪は世界戰史にその例を見ず幾多從軍外國記者團の肝を潰してゐるが▼この皇軍將兵に伍して警備に索敵に通信に人後に落ちぬ働を見せてゐる軍犬軍用鳩の殊勳も又見逃すことは出來ない▼彼等は動物なりとも戰線にあつては立派なる勇士である故に軍では行賞をもつてこの勳功を賞へてゐるではないか▼それにも拘らず一般は餘りにもこの物言はぬ勇士に對して無關心であり冷淡なるに鑑み滿洲軍犬協會新京支部は率先して第一線出動軍犬に對して慰問品を贈ることゝなり▼各方面から普く慰問品を募ることゝなつたことはまことに時宜に適した欣ぶべき企てである▼このことは單に慰問といふことのみに止らず延いては動物愛護、軍犬思想の普及といふ點から見ても大いに效果的であり▼小學兒童と云はず婦人と云はず普く江湖の双手を擧げての贊同をお願ひ致す次第依つて如件

暴狀つのるソ聯

沿海州居住の半島同胞に奧地强制移住を申し渡す

東に支那事變、西に地中海事件を控へたソ聯政府は、極東の危機を呼號して反日デマ放送に躍起となる一方イタリーへの强硬抗議を發表して地中海の波浪を高からしめてゐるが、これは明かにソ聯國內の深刻な紛擾から國民の眼を外に轉じさせやうと言ふ苦肉の策に外ならない、ソ聯政府部內の反目葛藤はます／＼尖銳を極め、民心の離反は一層その度を加へてゐるが、殊に極東ソ聯における反スターリン熱は今や澎湃として各地に漲り、ソ聯當局を極度に心痛せしめつゝある、最近確かなる筋よりの報道によれば各地のゲ・ペ・ウは反スターリン分子檢擧に大童の有樣で、監獄は超滿員の狀況だといふ

殊にハバロフスクでは軍首腦部その他の要人がどし／＼モスクワに護送されてゐるがハバロフスク軍事裁判によつて銃殺された者は本年六月以降約四百名に達してゐる、懲役の判決を受け强制勞働場で苦役に從事させられる多數囚人は全財產を政府に沒收され家族は四散するといふ悲慘な狀態である

また最近ハバロフスクでは滿洲國の保甲に類似した制度を採用して肅正工作に供してゐる模樣でそのため早まつた誤認による申告誣告によつて無實の罪に泣く者も多い、聚落內の親睦はおろか家族同志の間でも相互信賴の念がなく市民の不安と疑心暗鬼に拍車をかけてゐる

また注目すべきは半島同胞に對する迫害が峻烈を極めつゝあることである、日支事變以來熱烈な愛國心を各方面に發露しつゝある在日滿の半島同胞の態度に鑑み在ソ鮮人に疑心暗鬼を生じたゝめでもあらう

極東の肅正工作のためと稱し無法にも在沿海州鮮人の奧地移住を斷行することゝなり、既に先般スラウヤンカおよびニエルバ漁場、アヂミ河口に住む全鮮人に對し中央部の決定により奧地移住の旨を申渡し、本月中旬から實施、本年中に完了の豫定といはれる

またソ聯漁船乘組の鮮人漁夫も全部追放に處せられつゝある、今月上旬約一千人の鮮人を鮨詰にした列車がハバロフスク南方で脫線顚覆した事實があるが、未知不毛の奧地に送られる不安の上にかうした沿道の危險も加はつて在ソ同胞の恐怖は募り國境線に向つて逃亡を企て逮捕されたものも尠くないとのことである

これ等半島同胞は果して何處へ送られやうとしてゐるのか、シベリアの奧深くとも、中央アジアのトルキスタン方面ともいはれてゐるが、いづれにせよ住みなれた故鄕を離れ日々漁業、農耕にいそしんだ沿海州を後に家財を奪はれ、生業を失つて荒涼たる不毛の地に追放されて行く半島同胞の運命より哀れなものはない

得意の突擊で敵左翼深く進擊

戰鬪日誌の語る武勳の數々

【羅店鎭十八日發國通】羅店鎭東北方練塘、馬里雨クリークの線で目覺ましい前進を遂げた和知部隊は四日間にわたる激戰中得意中の得意たる演習にもなかつた果敢な突擊をもつてさらに輝かしい勳功の數々をたてたが、この戰鬪において戰死廿、戰傷七十を出した、その戰鬪日誌に書かれた壯烈なもの二、三をひろつて見る

和知部隊

馬詰茂男准尉 十五日朝馬格堤防占據の際先頭に立ち塹壕內の敵兵三十六人を愛刀に物をいはせて叩き斬り大いに士氣を鼓舞したが、同八時頃身に敵彈を受く

濱田保中尉 十七日午前六時馬橋西南の敵陣地目指して越智○隊第七○隊長として塹の偵察中敵の狙擊を受け戰死

木村準尉 十五日夕刻越智○隊第六○隊長代理として奮戰し遂に戰傷

我軍長驅懷仁に入る

（上）は○○部隊富永參謀と松井大尉○○において長谷川部隊長と會見、（下）懷仁縣政府を辭するわが○○部隊富永大佐と松井大尉

金融合作社の現況（完）

特別保證貸付け

七、金融合作社の特別保證貸付

【昨朝刊三面よりの續き】金融合作社本來の使命の徹底を期するため康德四年度より擔保を有せざる小農を對象として特別保證貸付を行つたが、就中經濟力の薄い小農は地方糧棧、當舖等より甚だ高利且つ不當なる條件で搾取に惱まされ所謂靑田賣り等によつてその窮狀を凌ぐといふ實狀にあつたので、これが復興策としてこの貸付を行つたのである、この貸付方法は次の通りである

一、貸付額一人當り五十圓を限度とし

二、利率は金融合作社の普通貸付利率とし

三、近隣五名乃至十名を以て組を編成せしめ、一組を一社員と看做して入社せしむ

なほ八月末現在の貸付額各省別は次の如し

省別	組數	推定人員	貸付金額
吉林	二、〇〇八	九九、八五六	一、八三〇、九五〇
龍江	五、九三一	二一、六五七	八九三、八七〇
牡丹江	九五五	六〇、三五八	一三六、六〇〇
濱江	八、二〇〇	三五七、四〇〇	一、三四四、〇四三
安東	一、六八四	四八、六八八	一八七、一一七
通化	一、〇〇五	七、三四五	一〇四、八三一
奉天	一〇、九九九	三六七、九九三	一、五三一、九〇三
錦州	五、九九三	三〇七、一二一	七一〇、〇九八
熱河	一、八三二	三三、九九九	四三九、一六八
興安南	三〇六	一〇、七八六	四〇、六五〇
計	四〇、五九三	三四四、一四四	七、〇三〇、五二二

八、金融合作社聯合會の設立とその機能

金融合作社の增設に伴ひその中央連絡機關の設置を必要とするに至つたので規定に基き康德元年十二月十七日新京に金融合作社聯合會が創立されたのである、金融合作社聯合會は全金融合作社を會員として會員の業務上の利益の增進を圖るを目的とする社團法人であつて、而してその主要業務は次の五である

1　資金の調節を爲すこと

2　金融合作社の業務上の指導を爲すこと

3　金融合作社相互の聯合を圖ること

4　金融合作社の職員の養成を爲すこと

5　その他金融合作社の便宜を圖ること

支那に稀らしい淸冽な琉璃河

沿道二百里の塹壕

【北平十八日發國通】○○部隊が壯烈な敵前渡河を演じた琉璃河は大房山の奧地に端を發して蜿蜒二百里渤海灣に注ぐ大河だが、濁流のみの支那の河川には稀らしくその名の如く琉璃を溶したやうな淸流である、渡河戰が行はれたのはその上流楊子橋だつた、河を渡ると楊子橋から馬各莊までつゞく蜿蜒たる塹壕は巧妙を極めたもので、上から見ても前から見ても判らぬやうに出來てゐる、正確無比のわが空爆に拘らず容易に陷らず敵が頑强に抵抗したのはこのためだ、逃げ去つたあとの塹壕の中には銃彈、食糧等雜多の物が一杯に散亂し、中には英語のリーダーや西洋紙の本等が幾册も落ちてゐる、誤まれる共產、抗日の意識にかられてあたら若き生命を散した紅顏の少年兵や學生義勇兵の顏がまざまざと見る敵ながらも記者の眼頭があつくなつた

鼻つまみの宋美齡女史

今度は米國へ

【東京國通】十八日某方面に達した情報によれば、蔣介石夫人宋美齡は最近便船をまつて渡米することゝなつたと傳へられてゐる、事變勃發以來同女史の抗日活動は南京政府部內においてすら顰蹙してゐるほどで先頃のラヂオ放送の如き列國の同情にすがらんとして却つて物笑ひの種となつたが、最近列國の輿論の動向が次第に支那側の宣傳に呆れ反感さへ持つに至つたところから米國の知己を賴つて同國輿論を支那に有利に展開するよう暗躍を試むべく、今回渡米を企圖するに至つたものとみられてゐる

宋美齡上海着

【上海十八日發國通】宋美齡女史は十八日午前十一時自動車にて南京より上海着、フランス租界の自邸に入つたが、前線將士慰問激勵のためといはれる

承德事變記念日

承德における事變六周年記念日は十八日午前十時より省公署主催日滿官民殉職者慰靈祭を離宮殿に金省長、連次長以下日滿官民多數參列盛大に執行、午後は日滿國防婦人會員の戰傷病者慰問、戰歿勇士の墓參等を行ひ夜は映畫により當時を偲び午後十時サイレンを合圖に默禱する

反共移動展

哈爾濱全露ファシストが

かねてより「ロシヤは眞のロシヤ人の手に」のスローガンのもとに現ソヴイエト政權打倒を叫んで全世界の反ボルシエビイキ革命主義者を糾合、各地に果敢なる反共戰線を展開してゐる全露ファシスト黨では來る十一月七日は革命二十周年に當るので革命に對する悲憤の想出も新しく同記念日前後に亘り全黨員起つてさらに熾烈な反共鬪爭を世界各地に展開することになつたが、その最大ルートの一つたる哈爾濱全露ファシスト黨でも黨首ロザエフスキー指導のもとに反共移動展覽會及び演說會を開催、反共の狼火を擧げることになり早くも丸十七日齊々哈爾に於て第一回展覽會を開いた

同展覽會は革命二十年にわたるソ聯共產黨政權下の慘憺たるロシヤ民衆の生活、各國におけるコミンテルンの魔手及びその傳動振りを目の邊りみせるとともに世界ファシスト黨の戰線及び全露ファシスト黨の活躍狀況を紹介すべく各種の資料を陳列して全世界における反共鬪爭の縮圖たらしめるもので、西部線、各驛はもとより新京、奉天、大連その他日本內地及び支那の主要都市においても約二ヶ月にわたり順次開催の筈

地方行政機構改革

十一月頃實施

目下着々準備進む

現下の緊迫せる國際情勢に對應し併せて國內一般の狀況に鑑み滿洲國政府では去る七月一日をもつて中央行政機構の改革を實施したが、さらに今年中に斷行さるべき治外法權の撤廢ならびに滿鐵附屬地行政權移讓により國內行政機構が全面的に統制を見ることになるので、これに對應して地方行政機構を早急に改革する必要に迫られ政府當局では法權撤廢と並行的に地方行政機構の改革刷新を行ふことゝなり、目下着々これが準備を進め關係諸法規もすでに法制當局の手で審議中であるから、近く水曜會議、國務院會議に附議決定の上、參議府の諮詢を經て十一月頃にはこれが實施をみる豫定である、而して各級行政機構改革の要綱は左の如くである

一、省機構

イ、地方機關の有機的綜合的能力を發揮せしむる爲の地方的中樞機關たらしめ特に下級行政機關督戒の重要機關たらしむる事

ロ、此の爲には省區劃を合理化し省制、省官制の一部改正を行ふ

一、縣機構

イ、現在の縣行政法に基く制度を改め、縣制、縣官制を始め諸法規を新に制定する即ち治外法權撤廢に伴ひ地方制度を確立し特に縣參事官に對しては法制上の地位を明確に定める

ロ、交通、產業の發達と經濟的中心の變動に伴ひ改廢を要すべき縣の廢置分合を行ふ

ハ、特に街村育成の當事機關たらしめ名實ともに地方團體としての機能を整備すること

一、特別市及び普通市機構

イ、特別市は國都のみとし既に實施せられてゐるがこれに伴ひ新特別市制を制定する

ロ、普通市は滿鐵附屬地行政權移讓の曉は市として諸條件を具備せる都邑も多數あり、附屬地外主要都邑とゝもに安東、撫順、營口、鞍山、遼陽、鐵嶺、四平街、錦州、牡丹江、佳木斯等に對し遠からず市制を施く

一、街村機構

イ、街村の育成、制度の確立については當局は最も力を致し國家の最下級行政單位としての團體たらしめんことを期し隣保共同生活を振興し地方民の福祉を增進する保甲的職能、經濟的職能、行政的職能を具備せしむる

特に法權撤廢後は日本人に對する課稅について法制上の根據を明確ならしむ

ロ、刻下の現況に鑑み官治的色彩の強化を當分の間必要とするので街區村の長はこれを官吏待遇とする

一、興安各省の省、旗制については當分現在のまゝとし將來改めて考慮する

而して政府はこれ等の實施案を作成するに當つては次の如き方針をもつて臨んでゐる

一、制度は彈力性と伸縮性を持たしめ民度差、民力差よりくる統制力に融通をきかしめ現地即應の建前から劃一主義による固定化を避ける

一、國家經濟と行政との調和に考慮を拂ふ

一、行政の運營に當つてはあくまで民意を尊重し地域的漸進主義をもつて進み又地方自治團體としての訓練上制度は出來るだけ有機的構造を持たしめ民衆をして國本主義を遵守せしむるやう原則的には官治主義による

日本、シャムと新通商條約締結す

近く正式調印へ

【東京國通】シャム國では昨年十一月協定關稅率の撤廢その他不平等條約の廢棄を企圖し、現行對外通商條約を向ふ一ヶ年を限り廢棄し、新通商條約を締結したき旨關係各國に通告、わが國に對しても同樣措置に出でたが、わが國としてはシャム國との從來よりの緊密親善なる關係を考慮し各國に率先して新通商條約を成立せしむべく、去る八月赴任した村井公使をして同國政府と折衝を行はしめてゐたところ、シャム國においてもわが方の意向を諒とし欣然これに應諾することゝなり、近く現地において新通商條約の正式調印を見る運びとなつた、しかして右新條約は現行條約と略々同樣のものであるが、新條約の成立により兩國の親善關係は益々緊密を加へることゝなつた

拿捕されたる朝風丸歸る

【淸津國通】去る五日ポセット港外でソ聯監視船二隻に不法拿捕された總督府監視船朝風丸は十七日夜釋放され滿十三日目の十八日午後二時半淸津港に入港した、詳細は船長ほか高級船員が當局を訪れ不在のため不明であるが、居殘つた船員の語るところによれば

五日午後一時四十分ポセット港外でソ聯監視船二隻が隼の如く本船に近寄つて停船を命じ、數名のゲペウが乘込み來り船長以下全員を船員室に監禁してしまつた、それから何處へ曳航されたものか吾々には判らなかつた、取調の際は一人づゝ呼出され、食糧は本船に積込んでゐたものを節約しつゝ今日までやつと持ち耐へた、最後に釋放されたのは十七日夜半で途中までは目隱しの儘送られて來ました

スポーツ便り

滿洲軍對早大足球戰

四對〇で早大軍勝つ

【東京國通】滿洲軍對早大足球續き＝審判竹越、松丸、塚部の三氏

△メンバー

早大（正）茂木、渡邊（健）渡邊、加茂、高橋　F.W　野田、野村、吉田、笹野「」西、佐　H.B　F.B　G.K

滿洲軍譚、郭、郭、李、張、孫、郭、蔡、金、王（鴻）（義）（正）（吉）

△經過

「前半」早大先蹴後直ちに攻め込んだが滿洲軍のバック守り固く退けられた、ウウイングから屢々チャンスを迎へたが決定力を缺き又滿軍の好タックルに脆くも潰えて得點に至らず卅二分滿軍は早大上野のミスに乘じて初の右コーナーキックを得て漸く攻擊の端緒を開いたかと思はれたが、早大の關野、吉田の好守に返され、その後一進一退のうち四十一分、四十三分と早大好機を迎へたが、キーパーの好防にはばまれ〇―〇に終る

△後半　五分早大高橋滿軍レフトバックのミスキックを拾つて右から深く折返した球を渡邊强襲すれば、右隅に加茂（健）プッシュで中央にきめ１―０、續いて廿四分早大關野の右クロスバスを高橋ゴールライン近くで受けシュートすれば左上隅にきまり３―０と引離す、卅分頃より滿軍漸く奮起して卅五分鄭から郭（義）につた球を郭（義）シュートしたが決らず、卅八分も張の好守は右ポストにあたつて正面に落ち、これを郭（義）シュートしたが何れも早大佐野の好防に阻まる、四十四分早大西村の低襲を高橋受け、更にロングパスすれば加茂（健）直ちに折返し加茂（正）中央に强シュートして結局四―〇で早大勝つ

早大	4	0―0	4	23 GK 8
滿洲軍	0	0―0	0	10 FK 9 / 2 CK 10

△戰評

滿洲軍は四對〇と早大の勝利に歸したが、前半早大の猛攻を阻んだ滿軍守備陣の健鬪を褒める早大は先づウイングに球を収めて只管オープンを志した方針はよしとするも、インサイドは徒に弄球に偏し兩ウイングとの連絡を忘れて中央邊に浮動するのみで、有機的な動きなく唯一の武器とする突進力を封鎖されみじめな前半にあまんじねばならなかつた滿軍は譚の好走、郭（鴻）李（正）の兩インサイドの好技が目立つたが、中軸を持たぬため得點に至らず早大ハーフバックの强靱さに全く封じられた態であつた後半五分早大フォアワードセンターの大き過ぎたドリブルが却つて滿軍レフト、バックの失するところとなり、これを右側にゴールしてから漸く甦つた如くで、滿軍の疲勞にも助けられて廿一分廿四分と得點を續けタイムアップ直前にもゴールし勝つには勝つたが、スタートの惡さは相變らずだ滿軍としては前半の善鬪をもつて滿足すべきであらうが、後半訪れたチャンスを一つでも物にしてゐたら更に面白かつたであらう

運命鑑定

申込多數に付又々日のべ

九月十八日より九月二十二日まで〔朝九時より夕六時まで〕

ないと思ふな運と災難

皆さんの運勢が一目でわかる　好機逸せずすぐ來れ

運勢　適業　相性　家相　姓名　病氣　其他

新京吉野町記念公會堂

泰東日報重役會

社長に高柳氏

十八日午後二時大連泰東日報社では重役會議を開き社長に高柳保太郞、監査役に三浦襄臣兩氏を推し、十萬圓の增資を可決して散會した、なほ午後七時からヤマトホテルに關係者招待泰東日報の弘報協會加入の經過ならびに新任社長高柳氏の挨拶があつた

帝國燃料工業

設立準備委員

【東京國通】政府は十八日より七十一議會を通過せる帝國燃料工業株式會社法を施行するとゝもに取急ぎ同社の設立準備を進めることに決し同日附で設立委員長吉野商工大臣以下委員三二、四名、委員補助六名を任命發令した、なほ設立委員の初會合は廿二日午前十一時工業俱樂部にて開催する筈

藤井中將遺骨

【下關國通】察哈爾國境黑諾營子の激戰で滿洲國軍を指揮して奮戰敵に潰滅的打擊を與へ遂に名譽の戰死を遂げた藤井重郞中將の英靈は京子未亡人、長男毅君に護られ秋雨煙ぶる十八日朝七時十五分下關に入港の興安丸で官民多數の出迎へを受け沈默の凱旋をなした

秋晴の下健康讃ふ 由緒の建國體操

男女百六十余の團員參加し きのふ第一回大會擧行

大滿洲帝國體操協會並に協和會首都本部では康德二年皇帝陛下の御訪日を記念して制定された由緒ある建國體操の普及により體位の向上につとめつゝあるが更に指導者の養成と技術的向上を圖り併せて協和會各分會の融和親睦に資せんと十九日午後一時半より西公園競技場に於て第一回建國體操大會を開催した、定刻參加十六團體、百六十名の團員一列となり關東軍軍歌の勇ましい音律に足なみ揃へて會場を一週し中央に整列、日滿國歌齊唱裡に兩國旗を掲揚し長嶋役員長、平野副會長の挨拶久保田審判長の注意あり入場式を終へ久保田氏の指揮でマスゲームを行ひ愈よ競技會に入る各分會共よく協和精神に立脚し虚心坦懷體操の本義を遺憾なく發揮し午後四時大會を終了した、なほ各分會毎に久保田、德田、酒井、邵の諸審判員が採點した結果一等數員講習所、二等大東公司、中央銀行、宮內府、民生部、治安部の各分會と決定しそれ〲體操會の優勝盃、優勝甕を授與された【寫眞は上、入場式下、建國體操】

浄月潭山林中に縊死体

十九日午前八時頃浄月潭北方山林中に鼠色夏背廣服を着用した年齢三十歳位内地人風男の縊死體あるを滿洲國造林署勤務平田某が發見領警署双陽縣新安堡分駐所に届出あり右通報に接した領警署司法係小谷巡査部長は直ちに實地檢證に赴いた

武運長久祈願 奉納劍舞會

日本神刀館滿洲本部では十九日午後三時から日支事變皇軍武運長久祈願奉納劍舞會を催した、本部長田邊正守氏を始め新都醫院々長饒村佑一氏、新京驛員面高武司氏などその中には僅か七才の新京幼稚園の堂脇昌愼君も交り、修祓式の後白襷に白鉢卷の裝ひで奉納者たちは火を吐くやうな熱で劍を振ひ同四時終了した

時局下思出も生々し 滿洲事變の夕べ 昨夜盛況裡に終る

滿洲步四會主催本社後援〃滿洲事變思出の夕べ〃は十九日午後六時三十分から新京西廣場滿鐵俱樂部で開催された、事變當時直接寬城子南嶺の戰鬪に參加し赫々たる武勳をたてた勇士の謦咳に接せんと各學校生徒兒童一般市民は定刻前より續々と會場に詰かけ千五百を容れる俱樂部も立錐の餘地なき盛況である、かくて定刻滿洲步四會長加藤鐵矢氏萬雷の拍手に迎へられて登壇一場の挨拶のうち新京鄕軍聯合分會長五十嵐少將、當時實戰に參加して勇武をあらはした星少佐、筒內二師雄特務曹長ら交々起つて血湧き肉躍る戰鬪の狀況を物語れば聽衆我を忘れて破れるが如き拍手を送り場內昂奮の頂點に達す、ついで新京詩吟會田邊幹事ら會員の詩吟劍舞これまた絶讚を博し映畫寬城子南嶺の戰鬪實寫に思ひ出を新にし最後に戰歿將兵の英靈に一分間の默禱を捧げこの意義ある催しは臨時の長春在住邦人の氣分にかへり終始緊張と昂奮に終始して閉會した

長春縣警察權 首都警察廳から分離

從來首都警察廳は新京特別市のみならず長春縣全般の警察權をも掌握してゐたが、かゝる制度の下においては兎角新京市本位となり勝であり、他方滿洲國の現狀よりして地方行政についてはあらゆる部門に亘り警察權の協力にまつべきものが多い實情に鑑み、新京特別市と新京市を除く長春縣にも警察權を移管しもつて新京特別市の區域と首都警察廳の管轄區域とを一致せしむることに決定、近く關係各會議に附議される筈である

東拓龍井村支店員一行來京

東洋拓殖會社龍井村支店社員一行十五名は川西同支店長に引率されて十八日來京十九日中秋節の國都を見物、十九日夜の列車で間島に赴いた

內田博士來京

近く開催される實業部林野局の鳥獸保護法講習會に講師として招かれる日本鳥類學界の權威農學博士內田清之助氏は二十二日着列車で來京することとなつた

小澤禎吉郎氏

興安大路二〇四小澤禎吉郎氏は滿鐵新京醫院に入院中の處十九日午後二時遂に死去、享年六十七
氏は廣島縣出身、日清、日露兩戰役に從軍勳七等に叙せられ明治四十年台灣より渡滿、關東都督府勤務となり翌四十一年四月滿鐵入社公主嶺、遼陽その他沿線各滿鐵醫院開設に庶務長として功勞あり、大正九年滿鐵退社後は入舟區長、福祉委員その他名譽職につき盡すところ多かつた
葬儀は二十日午後五時觀町太子堂で執行される

秩父宮兩殿下 御歸國の途につかせらる

【ロンドン十八日發國通】秩父宮同妃兩殿下には十八日ロンドン御出發、カナダ經由一路御歸國の途につかせられた、午前十時六分兩殿下御出發のウオタールー驛には英國皇帝ジョージ六世陛下御名代ゲーヂ子爵をはじめ首相、外相代理その他英人多數および在留日本官民百五十餘名が御見送り申上げ、兩殿下にはこれ等の人々と御別れを惜まれつゝサザンプトンに向はせられ午後一時出發のエムプレス・ブリテン號に御乘船カナダに向はせられた

××××

けふ彼岸の入り 市内各寺院の行事

けふから彼岸入りの各寺院ではそれ〲彼岸法會講話が催され、善男善女の參詣者が相踵いで賑ふことであらう

△西本願寺 二十日から二十六日まで毎日午後二時、同七時半の二回に亘つて彼岸法會講話あり
△東本願寺 二十日から二十六日まで毎日午後一時半、同七時半の二回づゝ彼岸法會、二十一日午後一時から滿洲事變及び日支事變戰死者の追悼會
△大正寺 二十日午後一時から彼岸入り法會、二十二日午後一時豐川吒枳尼天月並祭、二十三日午後一時から歷代天皇尊智回向、二十三日午後八時半日支事變戰死者回向、二十六日午後一時彼岸有緣無緣大施餓鬼及び右各行事日には行事後に法會講話あり
△日蓮宗經王寺 二十三日午後一時から施餓鬼と說教
△長春寺 二十一日、二十三日及び二十六日の三日各午後八時の二回に亘つて彼岸法會
△高野山金剛寺 二十日から二十六日まで毎日午後八時に彼岸法會

見事な訓練にヤンヤの喝采 第一回軍犬訓練競技會終る

滿洲軍用犬新京支部の第一回軍犬訓練競技會は十九日午後一時から大同公園內廣場で開催されたが觀衆は午前にも增し會場の周圍を十重二十重に取圍み係員は場內整理に大汗だくである、來賓席には町山關東軍獸醫部長も見え場內は軍犬熱いよ〱高潮する中を御側行進から訓練競技を開始、据座及招呼伏臥及匍匐前進（五十米）休止（十分間）拒食、監視、障碍通過（高跳一二〇米、板墻一二〇米）襲擊、搜索等順次進められたが人後におちぬその動作に觀衆を驚嘆させ中でも出場の紅一點三田組平井夫人の鮮やかな訓練振りと愛犬サリー號の見事な訓練競技はやんやの喝采を博し五時半頃全訓練競技を終り審査委員長高山獸醫大佐より國都の軍犬は最近その進步見るべきものあるも飼育訓練に於て更に一層の努力を要す といふ意味の講評あり六時より賞品授與を行ひ未曾有の盛況と多大の效果を收めて終了した【寫眞は襲擊競技】

仔犬を當てた幸運の四氏

軍犬新京支部主催軍犬品評會並に訓練競技會の呼物仔犬抽籤は多大の興味を呼び抽籤券二千餘につき午後二時より抽籤の結果當籤番號二三三（二道河子柳川あや子）二四八（大和通四四林田鑿）二一七（吉野町七丁目二今泉今吉）補欠一五九九（豐樂胡同二一五永友廣明）の四氏が見事好運を摑み萬雷の拍手を浴び仔犬を抱いていそ〱と引揚げた

入賞出陳犬

滿洲軍用犬協會新京支部主催第二回軍犬品評會の出陳犬につき嚴重審査の結果左の如く入賞した

△第一種（成犬牡）一等ゲリ1號一年八ケ月（戶田龜雄）二等パロー號三年六ケ月、（中尾成）三等ハキ號二年三ケ月（池谷槇太郎）
△第二類（成犬牝）一等サリ1號一年九ケ月（平井清）二等デアー號四年七ケ月（柳川吉美）三等クリス號二年一ケ月（高月四郎）
△第三類（未成犬牡）一等ヘルメー號七ケ月（都築德三郎）二等次郎號十ケ月（寺內清次）三等プレス號十一ケ月（平井一）
△第四類（未成犬牝）一等エトアーヌ號十一ケ月（澁川一郎）二等デル號一年（今泉今吉）三等ビーゲル號一年（黑瀨慶爾）

家財整理の金から防空費を獻金 下九臺川田コトさんの美擧

吉林省九臺縣下九臺中央街居住、本籍熊本縣飽託郡川內村大字多々良生れ川田コトさん（五四）は內緣の夫山本秀太郎氏と昭和九年一月來滿前記下九臺に居住ゴム靴商を營んでゐたが去月七日夫は病死し二人の間には子供も無く寄る年波の心細さに近く內地へ引上げることゝなつたが、偶々去る十八日領警署丹治巡查部長が秋季淸潔檢查に赴いたところ川田さんは同部長の訪れを機會に身の境遇を話した上香典や家財を整理賣却した內金五十圓を差出して

『今日までこの田舍に何の心配もなく暮すことの出來ましたのも偏へに日本軍隊のお蔭によるものであります、これまでも幾度となく御禮の心ざしをと思つてゐましたが機會がありませんでした僅かですが飛行機を造る費用の一端に加へて戴くやう御面倒ですがお屆け下さいませ』

と防空費への獻金を申出た、丹治部長もこのかくれた同女の愛國の至情に燃えた心差しにいたく感激して直ちに獻金手續きをとつた

日曜中秋節の好日和 馬場は超滿員 秋季第三次競馬第一日

新京競馬秋季第三次レース一日は日曜と中秋節の好日和に惠まれて超滿員、各レースごとに展開する白熱的競馬にファンの興奮はまた格別のものがあつた、當日は第一競馬に吉生十二圓の好配當に始まり第三レースには吉功十五圓十錢、第四競馬には第二春花廿三圓二十錢と續き、第八レースに千代駒三十九圓二十錢の穴を出し、第九レースに金大川十六圓六十錢と續く好配當に日曜競馬らしき熟戰を演じて賑々しく終つた、當日の成績左の如し

▲入場人員　三五八五名
▲馬券賣上高　八七、八四五圓
▲彩票搖賣上高　一九、九一〇圓

△第一競馬（五頭、二、二〇〇米）1吉生（三分一〇秒四）2高風3日昇旗、配當－單一二圓、復1六圓七〇2五圓一〇搖彩1一二圓三〇2三〇圓等外一二圓五〇
△第二競馬（三頭、二、六〇〇米）1第二飛龍（三分四〇秒三）2大江戶3秋風、配當－單五圓五〇、搖彩1一三四圓四〇等外一六圓八〇
△第三競馬（六頭、二、二〇〇米）1吉功（三分九秒一）2早姬3新譽、配當單一五圓一〇、復1七圓六〇2九圓二〇、搖彩1三一四圓八〇2七八圓七〇等外二四圓六〇
△第四競馬（四頭、二、二〇〇米）1第二春花（三分五秒二）2滿洲鶴3甘王配當－單二三圓二〇、搖彩1二八三圓七〇等外二三圓六〇
△第五競馬（五頭二、四〇〇米）1奉天若虎（三分〇八秒一）2美光3初瀨、配當－單五圓復1五圓一〇2六圓六〇等外四一圓六〇
△第六競馬（五頭、二、二〇〇米）1八二（三分四秒）2赤穗3八萬配當－單六圓三〇復1五圓三〇2六圓搖彩1四三〇圓2一〇七圓五〇等外四四圓八〇

△第七競馬（五頭二、二〇〇米）1來北（三分七秒三）2拉麗德3華王、配當－單五圓三〇復1五圓三〇2六圓四〇搖彩1四六五圓九〇2一一六圓四〇等外四八圓五〇
△第八競馬（八頭二、〇〇〇米）1、千代駒（二分四四秒三）2、三治3、朝日櫻配當－單三九圓二〇復1、二圓九〇2七圓四〇3二二圓七〇搖彩1、一〇九三圓一〇2三一二圓三〇3一五六圓一〇等外七八圓
△第九競馬（十頭二、〇〇〇米）1金大川（二分四四秒四）2新初音3武勇、配當－單一六圓六〇、復1六圓四〇2七圓七〇3六圓一〇搖彩1一一六圓2三三二圓八〇3一六六圓四〇等外五八圓四〇
△第十競馬（十頭二、〇〇〇米）1愛國（二分五一秒二）2金嵐3泉山、配當－單九圓六〇復1五圓五〇2五圓八〇3六圓二〇搖彩1二二〇圓2三二圓3十六圓等外五七圓一〇
△第十一競馬（八頭、二、二〇〇米）1、金駒（二分五二秒）2橫濱3、銀嶺、配當－單五圓六〇復1、五圓一〇、2五圓3、六圓七〇搖彩1一九〇、2二六二圓四〇、3一三一圓二〇等外六五圓六〇
△第十二競馬（六頭、二、八〇〇米）1、養玉（四分一三秒）2快快3、若駒配當－單一一圓復1一〇圓二〇、2三〇圓搖彩1、四〇九圓六〇、2、一〇二圓四〇等外三二圓

甘栗太郎移轉

吉野町二丁目の甘栗太郎は店舖改築中のところ今般落成精巧なる機械の設備も完了したので廿日移轉從前通り開業する事になつた

蒙政部總務司長で蒙古人相手をやつてゐた關口首都警察副總監、勝手が違つて困るだらうと思つてお伺ひをたてゝみると▼仲々どうして元警察畑にゐた人だけあつて大した識見と抱負を持つてゐる、まあこの人なら治安警備の重任を安心してまかせ得る▼第一時流におもねるに日夜汲々として突飛な勇ましいことを臆面もなくやつて得々としてゐるそこいらの成り上り的要人連中とは異つて腹の底が出來てゐる▼一見非常に物優しい口調の中に烈々たる鬪志と氣骨が窺はれる、そして此の人一番の美點は偉がらないことだ、あちやらこちやらのオエライ人等よ腋の下から汗が出てゐますよ

天氣予報

けふの天氣　南西の風晴時々曇
日の出　前六時二二分
日の入　後六時四一分
月の出　後六時十二分
月の入　前五時五三分
きのふの氣溫　最高二六度〇　最低一一度六（十九日後六時現在）

新京區公示第十八號
新京警察署長ヨリ新京附屬地內ニ於テ野犬驅除ヲ來ル九月二十日ヨリ同二十六日ニ至ル七日間實施スヘキ旨告示アリタルニ付期間中飼犬ハ繫留シ置カルヘシ、驅除期間中繫留セス放飼セル飼犬ハ野犬ト看做シ驅除スルコトアルヘシ
昭和十二年九月十八日
南滿洲鐵道株式會社 新京支社地方課長事務取扱 菅野誠

父禎吉郎儀豫て病氣中の處養生相叶はず九月十九日午後二時滿鐵病院に於て死去致候に付生前辱知諸彥に謹告仕候
追つて葬儀は二十日午後五時太子堂於て相營み可申候
昭和十二年九月十九日
男 春三
親戚總代 宍戶讓 田崎治久
友人總代 淺井庄一郎 吉村寧儀 細川虎太郎

けふの番組

【M・T・C・Y 新京放送局】二十日(月曜日)

『朝』

六、二五ニュース(東京)　六、三〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ(大連)　六、五〇初等滿洲語講座(大連)　講師　秩父固太郎
七、一五朝の音樂(大連)
七、四五建國體操
八、〇〇氣象通報
九、〇五經濟市況(東京)
九、三〇經濟市況(東京)
一〇、〇〇家庭講座(大連)　結婚を前に控へた人達へ　島田道隆
一〇、二〇料理獻立(大連)
一〇、三〇家庭メモ
一〇、四〇經濟市況(大連・新京)
一一、三五經濟市況(大連)
一一、四〇經濟市況(東京)
一一、五九時報(東京)

『晝』

〇、〇五晝の演藝(奉天)　室内樂　シオーケストラ　ブリランデサロ　一、陽氣な鍛冶屋

〇、ピータース作曲
二、黄金の夢を見たワルテルブラウス作曲
三、赤い翼(バンジョー獨奏)
四、印度の村よりリリューランス作曲
五、ロザムンデ　シューベルト作曲
〇、三〇ニュース(東京・新京)
一、〇〇經濟市況(大連・新京)
三、〇〇經濟市況(大連・新京)
三、四〇經濟市況(東京)
四、〇〇ニュース(東京・新京)
四、三〇經濟市況(大連・新京)
四、三五天氣概況

ラヂオの御用は 東京無線 電(3)四九一〇五三八九番

『夜』

五、二〇ニュース(餅語)
五、三五野尻白南　談(奉天)
六、〇〇子供の時間(大阪)　お伽歌劇　グリムおぢさん　キクノハナ歌劇研究會　伴奏　ミチルオーケストラ
六、二〇コドモの新聞(東京)　村岡花子
六、二五商業常識講座　新京商業學校　教頭　原島省吾
七、〇〇ニュース(東京)　ニュース・告知事項・番組豫告(新京)
七、三〇講演と實驗(大阪)　耳の何處が惡くて聽へないか　醫學博士　山川强四郎
八、〇〇謠曲(東京)　一、放下僧　觀世左近外　二、金札
八、三五箏曲(東京)　一、菊水・外　山勢松韻外
八、五五義太夫(大阪)　義士銘々傳　赤垣出立の段　淨瑠璃　竹本鐵太夫　三味線　豐澤新左衞門
九、三〇時報・ニュース(東京)　氣象通報・ニュース・告知事項・番組豫告(新京)
一〇、一〇ニュース再放送
一〇、三〇北滿の時間(哈爾濱)
一一、〇〇滿語ニュース・講演・音樂
アナウンサー　上森(朝)　佐藤(晝)　宮岡(夜)

義太夫

義士銘々傳 (赤垣源藏出立の段)

文樂座　竹本鐵太夫　三味線　豐澤新左衞門

後八・五五(大阪)

この淨るりは慶應年間に倉田千兩が書下したと傳へられてゐます。赤穗浪士の一人赤垣源藏がいよいよ明日吉良邸に討入といふ宵に兄鹽山伊左衞門の許へ今生の暇乞ひに往くと若黨いた眞弓の意見をよそに徳利の酒飮干してその場に高鼾れ御舍兄御立腹今逢へば直樣借りて病母眞弓を見舞ひ二度御手討といはれるが頓着せず奥へ通つて嫂お繼から小袖を徒會平太から大酒の意見をさ折柄一間に聲あつて伊左衞門が繰出す成敗の槍をかはして德利で押へ發落して立上ると寄ると見せて我咽喉に突立て源藏の心を見拔き手柄させやうために自害をします。源藏始めて母兄に實を明かすのを聞いた若徒會平太實は吉長の家臣尾林平太が注進に駈出さうとするのを槍で一突門出の血祭りにあげ悦んで絶入る母を唐土の王陵が母にも勝る御惠と伏拜み雪を蹴立て馳せ行きます。

なら討たれて候、親の敵にて候程に、討たばやとは存じ候へども、敵は猛勢われらはた一人ゝにて候間、思ふにかひなく月日を送り候、又兄にて候者は、幼少より出家仕りあたり近き會下に候、餘りに便りもなく候間、立ち越えこの事を談合せばやと存じ候、いかに案内申し候「誰にて渡り候ぞ「某が參りて候「や、此方へ渡り候へ、さて唯今は何のために來り給ひて候ぞ「さん候唯今參る事餘の儀にあらず、われらが親の敵の事、討たばやとは存じ候へども、敵は猛勢われらはたゞ一人にて候程に思ふにかひなく月日を送り候、あはれ諸共に思しめし御立ち候へかし「仰せは尤もにて候へども、われらが事は幼少より出家の身にて候程に、今更いかゞにて候「御意はさることにて候へども親の敵を討たぬ者は不孝の由を申し候「さて親の敵を討つて孝に供はりたる事の候か「なかくのこと唐土のことにやありけん母を悪虎にとられその敵をとらんとて百日虎伏す野邊に出でて狙ふある夕暮に尾上の松のがかくれに虎に似たる大石のありしを敵虎と思ひ番へる矢なればよつぴいて放つこの矢即ち巖に立ち忽ち血流れけるとなりこれも孝の心深きにより堅き石にも矢の立つと申候へばたゞ思しめし御立ち候へ「これは面白きことを引いて承り候ものかなこの上は諸共に思ひ立たうずるにて候「然るべう候「さてかの者には何として近づき候べき「某きつと案じ出だしたる事の候この頃人の翫び候は放下にて候程に某は放下になり候べし御身は放下僧に御なり候へかの者禪法に好きたる由申し候程に禪法を仰せらるにて候「げにこれは面白き了簡にて候さらばやがて思ひ立たうずるにて候「尤もにて候「いざくさらばと思ひつつ行脚の姿に身をやつせば「われもうれしく思ひつつ放下の姿に出で立ちて……

謠曲

放下僧

觀世左近外

後八・〇〇(東京)

「かやうに候者は、下野の國の住人、牧野の左衞門何某が子に、小次郎と申す者にて候、さても親にて候者は、相模の國の住人、刀禰の信俊と申す者と口論し、念

箏曲

山勢松韻外

後八・三五(東京)

一、菊水

前彈　その時正成、はだの守りをとり出し、これは一とせ、都にたたかひありし時、くだしたまひし綸旨なり、われともかくもなるならば、之を汝にゆづるなり、世は尊氏の世となりて、吉野の山の奥深く、叡慮をなやましたまはむは、鏡にかけて見る如しさはさりながら正行よ、しばしの離をのがれむと、弓張月の影くらく、家名をけがすことなかれ、父が子なればさすがにも、忠義の道はかねて知る、うちもらされし者どもをはぐくみ扶助しかくれがの、吉野の川の水清く、流れたえせぬ菊水の、旗をふたたびなびかせて、敵を千里にしりぞけて叡慮をやすめたてまつれあゝ叡慮をやすめたてまつれ
二、六段
これは歌詞はありません。

義人長七郎

(禁上演映畫化)　中川雨之助　竹枝一郎畫

(四十八)

兩國の易者 (三)

「―おいらの眼には、疾風の市松といつて、煮ても燒いても食へねえ野郎としきや見えねえんだが……やつぱり惚れた慾目で、あばたも、えくぼといふ奴かな、へゝゝゝゝ」

磯吉の言葉です。

味に絡んだ磯吉の言葉です。お銀だけが、その胸の中を知つてゐます。

磯吉はお銀に惚れてゐるのですが、お銀は大嫌ひで、いつも肱鐵砲を喰はせて居るのです。

その腹いせに、やたらに疾風の市松を追ひ廻してゐるのです。といふのは、お銀と市松と、わけでも有るやうに誤解して、燒餅を燒いてゐるのでした。飛んでもない目明しです。

お銀も、なかく利かぬ氣の女です。大ぜいの人の聞いてゐる前で、惚れた慾目がどうとか、かうとか、市松が、さながら情夫でゞもあるかのやうに言はれては、もう默つては居られません。

「親分さん、そんな因縁を言ふものぢやありません。巾着切や、掏摸を稼いでゐれば、なるほど、市公だつて、ソリヤ煮ても燒いても喰へない野郎でせうよ。だが、堅氣に暮れば、同じ眞人間ぢやありませんか。それとも近頃に、縛られるやうな惡いことをしたといふ、確な證據があるんですか」

「ウム……」

「ソレ御覽なさい、何も無いんでせう。お上さまは、お慈悲深くゐらつしやる。やたらに罪人を造るばかりが、能でもありますまい」

磯吉は、たしかに一本參つたのです。

「しつかりやれくく」と、手を叩いて、お銀に贔屓した者が、見物人の中にありました。

口惜さのあまり、磯吉は、カンくに怒つてしまひました。

「ナ、ナ、なんだと、女のくせにしやがつて手前、御用の妨げをするんだな。此上、惡く出シヤばると、てめえも一緒に、擧げちまふぞ！」

「おもしろい。擧げられるものなら、擧げておくれ！」

賣り言葉に、買ひ言葉です。

「言つたな……汲で、吠え面を、かゝねえやうにしろツ」

「ヘン、憚りさま。そんなコケ脅かしに、驚くやうな、銀杏のお銀ぢやありません」

「なんだ、なんだ、コケ脅かした何だ。此十手が、てめえの眼には這入らねえか」

「フン、そんな物が眼に這入つたら、それこそ命仕事ぢやないか。」

ホホゝ止してもおくれ、二タ言めには十手々々と、女に振られた腕いせの道具に使はれたんぢや、

十手の價値が無くなつて、そこら中の十手が、みんな夜泣きをするだらうよ」

「この氣狂ひ奴が。飛んでもねえ出たら目も宜い加減にしろツ。知られえ者が聞いたらほんとうにするぢやねえか……」

磯吉は、心の急所を突かれたのです。さすが鐵面皮の彼も、見物人の手まへ、うろたへずに居られません。

といつて、今更、十手の引込めやうもありません。さうなると、最後の奥の手です。奥の手といふのは、彼が持ちまへの弱い者いぢめです。お上の御用を笠に着て非道の横車を押さうといふのです。

「サアてめえも一緒に來いツ！」

二人の手先は、市松を、磯吉自身は、お銀を引き立てようとするのです。

「なにをするんだねえ此人は……頼さいねえ」

お銀は、力まかせに、ピシリツと磯吉の手を叩き退けました。